

第153回国際高官セミナー

「女性犯罪者の処遇」

1. 日程及び参加者

- 平成25年1月9日（水）～2月8日（金）
- 海外参加者12か国15名（コースカウンセラー1名を含む。）
- 国内参加者7名

2. セミナー概要

従来、その数が少なかったことなどから、あまり注目されることのなかった女性犯罪者の処遇について、近年、各国で女性犯罪が増加傾向にあることなどを受けて、その充実を図る要請が高まっている。2010年12月、国連総会において「女性被拘禁者の処遇及び女性犯罪者の非拘禁措置に関する規則」（バンコク・ルールズ）が採択されたのも、そのような要請の国際的高まりを示すものである。

本セミナーの目的は、女性犯罪者処遇に関して、その現状及び問題点を整理し、その改善を図る方策について理解を深めるとともに、各自が有する経験や専門知識を参加者間において共有することにある。

主要な検討項目は以下のとおりである。

- 女性犯罪の実態
- 女性犯罪者の処遇に係る諸問題
- 女性職員

3. 客員専門家等

本セミナーの一環として、アジ研教官による講義のほか、以下の客員専門家・外部講師による講義を行う（敬称略）。

【客員専門家】

- パトリシア・アン・ヴァンフォーヒス シンシナティ大学刑事司法学部 名誉教授
- ピエラ・バルツァノ 国連薬物・犯罪事務所（UNODC）事業局司法部 刑事司法改革専門家
- ナティー・ティッサワン タイ王国法務省法務研究所 副所長

【外部講師】

- 富山 聡 法務省大臣官房施設課長
- 坂本格太郎 法務省大臣官房施設課 補佐官
- 椿 百合子 法務省矯正局 矯正調査官
- 青島多津子 リラ溝口病院精神科医師
- 森田 展彰 筑波大学医学医療系社会精神保健学分野 准教授

以 上